



2023年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社
 コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 真紀子

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 大塚 徳明 TEL 03-5579-1837

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	337,217	13.9	26,371	22.0	26,514	23.4	19,411	20.5	14,586	18.1	36,931	△28.4
2022年12月期第1四半期	296,010	9.7	21,624	9.2	21,490	10.0	16,112	10.8	12,351	15.8	51,596	16.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	47.21	—
2022年12月期第1四半期	39.97	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,796,136	1,084,382	983,144	54.7
2022年12月期	1,783,349	1,060,104	965,220	54.1

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期第1四半期	12,595	△14,198	△17,574	182,145
2022年12月期第1四半期	30,651	△11,993	△34,190	160,853

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	39.00	—	41.00	80.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,531,500	5.6	134,500	△3.7	133,500	△4.2	95,500	△5.5	75,500	△8.3	244.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	309,000,000株	2022年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	121株	2022年12月期	121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	308,999,879株	2022年12月期1Q	308,999,969株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客さまの嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客さまとともに新たなおいしさ、健やかさ、楽しさを創造し続けそれぞれの市場で最も愛される会社となることを目指すという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて事業構造改革を進め、収益力の強化にも取り組みました。

当第1四半期連結会計期間においては、日本における人流回復及び海外主要市場における需要増が継続する中、全セグメントでコアブランドへの集中活動を継続した結果、主要国において引き続き販売数量が伸長しました。

売上収益は、日本における2022年10月からのPET製品の価格改定及び海外における機動的な価格改定を含めたRGM（レベニューグロースマネジメント）が寄与し、全セグメントで増収となりました。

営業利益は、原材料高及び為替変動によるコスト増の影響を受けましたが、売上収益の伸長とコストマネジメントの徹底により吸収し、当社グループ合計で増益となりました。

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～3月31日）の連結売上収益は3,372億円（前年同期比13.9%増、為替中立8.4%増）、連結営業利益は264億円（前年同期比22.0%増、為替中立12.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は146億円（前年同期比18.1%増、為替中立9.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、組織変更に伴い、従来「アジアパシフィック事業」に含めていたアフリカ事業を、当第1四半期連結累計期間より「アジアパシフィック事業」から「欧州事業」に組み替えています。これに伴い以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しています。

[日本事業]

2022年10月からの価格改定の影響を受ける中、人流の回復や好天の影響もあり、当第1四半期連結会計期間の飲料市場（当社推定）は前年同期並みとなりました。当社販売数量は、水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、新商品発売やマーケティング活動が貢献した結果、前年同期を上回り、引き続き市場シェアを拡大しました。

「サントリー天然水」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を上回りました。ミネラルウォーターでは、大容量PET製品が価格改定の影響を受けましたが、小容量PET製品は引き続き好調に推移しました。3月に発売した「サントリー天然水 きりっと果実 ピンクグレープフルーツ&マスカット」も販売数量の増分に寄与しました。

「BOSS」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を上回りました。SOT缶が好調に推移したことに加え、3月に発売した「ボス カフェイン」も増分に寄与しました。無糖茶カテゴリーでは、「伊右衛門」は、3月にリニューアルを実施し活動を強化しましたが、大容量PET製品が価格改定の影響を大きく受けたことにより、ブランド全体の販売数量が前年同期を下回りました。「GREEN DA・KA・RA」は、昨年のリニューアル以降引き続き好調に推移していることに加え、新商品の「やさしいルイボス」が寄与したこともあり、3月単月で過去最高の販売数量を達成しました。

売上収益は、2022年10月からの価格改定効果が大きく寄与したことにより、増収となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長とコストマネジメントの徹底により原材料高及び為替変動の影響を吸収し、増益となりました。

日本事業の売上収益は1,458億円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は36億円（前年同期比39.0%増）となりました。

[アジアパシフィック事業]

アジアパシフィックでは、清涼飲料事業及び健康食品事業のコアブランド集中活動を継続しました。健康食品事業の事業環境の回復に時間がかかっている中、引き続きベトナム清涼飲料事業の力強い伸長が事業を大きく牽引したことに加え、オセアニア清涼飲料事業も好調に推移しました。

売上収益は、販売数量の伸長に加え、主要市場における機動的な価格改定も寄与し、増収となりました。

セグメント利益については、健康食品事業の売上収益減少の影響を大きく受け、為替中立で減益となりました。

主要事業別には、ベトナムでは、主力のエナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」を含め、主要ブランドの販売数量が大きく伸長しました。タイでは低糖製品を含めた「PEPSI」及び「TEA+」が好調に推移し、販売数量が伸長しました。健康食品事業では、インフレ影響による需要の減少が続いている中、主力の「BRAND'S Essence of Chicken」のマーケティング活動の徹底、2022年10月のリニューアル実施などにより、販売トレンドは徐々に回復してきております。オセアニアでは、主力ブランドであるエナジードリンク「V」のマーケティング活動強化や、「BOSS」の販売数量が前年同期と比べ二桁成長したことが寄与し、ニュージーランド及びオーストラリアで引き続き販売数量が前年同期を上回りました。

アジアパシフィック事業の売上収益は899億円（前年同期比11.9%増、為替中立1.7%増）、セグメント利益は118億円（前年同期比2.9%増、為替中立6.8%減）となりました。

[欧州事業]

欧州では、主要国における堅調な需要の継続や、好天の影響を受ける中、コアブランド集中活動を強化し、フランス、英国、スペインともに販売数量が伸長しました。

売上収益は、主要国における価格改定も寄与し増収となりました。

セグメント利益については、原材料高やエネルギー価格上昇の影響を受けましたが、売上収益の伸長及びコスト削減活動により吸収し、増益となりました。

主要国別には、フランスでは、家庭用及び業務用において堅調な需要が継続しました。主力ブランド「Oasis」、 「Schweppes」及び「Orangina」の販売数量が引き続き大きく伸長し、シェアを拡大しました。英国では、主力ブランド「Lucozade」及び「Ribena」が堅調に推移しました。スペインでは、好天の影響を受ける中、業務用の需要拡大が継続したことにより、主力ブランド「Schweppes」の販売数量が前年同期と比べ二桁増と大きく伸長しました。

欧州事業の売上収益は686億円（前年同期比23.0%増、為替中立16.0%増）、セグメント利益は104億円（前年同期比43.5%増、為替中立36.7%増）となりました。

[米州事業]

米州では、堅調な需要が継続する中、主力炭酸カテゴリー及び非炭酸カテゴリーの活動を強化したことに加え、「Gatorade」の販路拡大も寄与し、販売数量は堅調に推移しました。

売上収益は、価格改定を含めたRGMも寄与し、増収となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長により、原材料価格並びに物流費及び人件費高騰の影響を吸収し、増益となりました。

米州事業の売上収益は329億円（前年同期比27.2%増、為替中立11.7%増）、セグメント利益は37億円（前年同期比22.0%増、為替中立7.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、棚卸資産、無形資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ128億円増加して1兆7,961億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務、未払法人所得税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ115億円減少して7,118億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ243億円増加して1兆844億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ185億円減少し、1,821億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益265億円、減価償却費及び償却費179億円、売上債権及

びその他の債権の減少76億円等に対し、棚卸資産の増加153億円、仕入債務及びその他の債務の減少102億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ181億円減少し、126億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出147億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ22億円増加し、142億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払131億円、リース負債の返済による支出37億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ166億円減少し、176億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想については、2023年2月13日に発表しました連結業績予想から変更ありません。不確実性の高い状況が継続するとの想定のもと、引き続き、全セグメントでのコアブランド集中活動、SCM活動を含めたコストマネジメントの徹底等、やるべきことをやりぬき、業績予想の達成に向けて着実に取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	200,630	182,145
売上債権及びその他の債権	270,969	265,851
その他の金融資産	3,118	3,048
棚卸資産	106,086	122,671
その他の流動資産	25,564	27,237
流動資産合計	606,370	600,954
非流動資産		
有形固定資産	381,511	384,432
使用権資産	48,841	48,884
のれん	264,573	267,906
無形資産	452,444	463,158
持分法で会計処理されている投資	1,305	1,999
その他の金融資産	14,777	14,678
繰延税金資産	6,398	6,594
その他の非流動資産	7,125	7,528
非流動資産合計	1,176,978	1,195,182
資産合計	1,783,349	1,796,136

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	57,996	56,999
仕入債務及びその他の債務	384,366	376,362
その他の金融負債	34,026	34,344
未払法人所得税等	18,098	13,623
引当金	1,417	906
その他の流動負債	8,254	8,904
流動負債合計	504,160	491,140
非流動負債		
社債及び借入金	64,752	64,927
その他の金融負債	44,987	44,809
退職給付に係る負債	13,732	13,813
引当金	5,722	5,802
繰延税金負債	84,922	86,806
その他の非流動負債	4,965	4,454
非流動負債合計	219,083	220,613
負債合計	723,244	711,753
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,229	182,229
利益剰余金	594,773	596,690
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	19,834	35,840
親会社の所有者に帰属する持分合計	965,220	983,144
非支配持分	94,883	101,238
資本合計	1,060,104	1,084,382
負債及び資本合計	1,783,349	1,796,136

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
	百万円	百万円
売上収益	296,010	337,217
売上原価	△180,639	△212,967
売上総利益	115,370	124,249
販売費及び一般管理費	△93,804	△97,960
持分法による投資損益	40	507
その他の収益	671	660
その他の費用	△654	△1,086
営業利益	21,624	26,371
金融収益	377	797
金融費用	△511	△655
税引前四半期利益	21,490	26,514
法人所得税費用	△5,377	△7,102
四半期利益	16,112	19,411
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,351	14,586
非支配持分	3,760	4,824
四半期利益	16,112	19,411
1株当たり四半期利益(円)	39.97	47.21

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	16,112	19,411
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	155	△88
確定給付制度の再測定	3	△3
純損益に振り替えられることのない項目合計	159	△92
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	34,919	17,476
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	341	104
持分法投資に係る包括利益の変動	63	32
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	35,324	17,613
税引後その他の包括利益	35,483	17,520
四半期包括利益	51,596	36,931
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	42,639	30,592
非支配持分	8,956	6,339
四半期包括利益	51,596	36,931

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年1月1日	168,384	182,423	536,996	△0	△27,210	860,593	83,358	943,952
四半期利益			12,351			12,351	3,760	16,112
その他の包括利益					30,287	30,287	5,195	35,483
四半期包括利益合計	—	—	12,351	—	30,287	42,639	8,956	51,596
配当金			△12,050			△12,050	△5	△12,056
非支配持分との取引 利益剰余金への振替		36				36	△48	△11
			△647		647	—		—
所有者との取引額合計	—	36	△12,698	—	647	△12,014	△53	△12,068
2022年3月31日	168,384	182,459	536,649	△0	3,725	891,218	92,260	983,479

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年1月1日	168,384	182,229	594,773	△0	19,834	965,220	94,883	1,060,104
四半期利益			14,586			14,586	4,824	19,411
その他の包括利益					16,006	16,006	1,514	17,520
四半期包括利益合計	—	—	14,586	—	16,006	30,592	6,339	36,931
配当金			△12,668			△12,668	15	△12,653
所有者との取引額合計	—	—	△12,668	—	—	△12,668	15	△12,653
2023年3月31日	168,384	182,229	596,690	△0	35,840	983,144	101,238	1,084,382

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	21,490	26,514
減価償却費及び償却費	17,485	17,927
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	39	128
受取利息及び受取配当金	△133	△799
支払利息	492	325
持分法による投資損益(△は益)	△40	△507
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,377	△15,252
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	24,708	7,559
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△11,668	△10,155
その他	△1,413	△3,171
小計	36,580	22,568
利息及び配当金の受取額	97	397
利息の支払額	△581	△426
法人所得税の支払額	△5,445	△9,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,651	12,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△12,156	△14,739
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	59	99
事業譲渡による収入	—	474
その他	104	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,993	△14,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの 増減額(△は減少)	△5,807	△809
長期借入金の返済による支出	△12,768	—
リース負債の返済による支出	△3,211	△3,650
配当金の支払額	△12,050	△12,668
非支配持分への配当金の支払額	△352	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,190	△17,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,532	△19,177
現金及び現金同等物の期首残高	176,655	200,630
現金及び現金同等物の為替変動による影響	4,317	692
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び 現金同等物	△4,586	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	160,853	182,145

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。